



Jターンで理想の場所と古民家に出会い 堅実な計画と目標で実現したカフェ

3RD PLACE CAFE N

オーナー 能登 瞳さん

2020年7月、阿武町奈古の路地裏にオープンしたカフェ「3RD PLACE CAFE N」。古民家を改修したこのカフェは、萩市出身の能登瞳さんが東京からJターンして開きました。外観は当時のままで内部をカフェスペースにリフォームしたお店は、まるで実家に帰ったようにくつろげます。能登さん手作りの料理と本格的なスイーツも、大きな魅力。過疎高齢化の阿武町で、常連さんや地元の方たちの憩いと交流の場として、愛されています。



生まれ変わった 古民家

能登さんは、東京の大学進学後に携わった飲食業のアルバイトを通して、料理を作りお客様と関わる楽しさを知り、飲食業の魅力に開眼しました。そして一生の仕事にしたいと思い始め、いつかそれを実現しようと、イタリアンや中華など様々な料理を学び、レストラン、カフェ、ワインバーなどに勤務して経験を積みました。

大学生活も含め12年間東京で過ごした後、故郷山口県で開業するために、夫と産まれたばかりの長女と共に、2015年30歳で阿武町にJターンしました。阿武町に住み開業することを選んだ理由は、実家のある萩市の隣にあり、子育て支援に力を入れていて子育て世代も暮らしやすい町だからです。他県から移住してくる若い方が増えており、町ぐるみで子育てを温かく応援しています。

母親になって初めて、子連れでの外食がいかに難しく不自由かを痛感した能登さんは、小さいお子さん連れでも気兼ねなく過ごせ、

また、どんな世代の方たちも気軽に立ち寄れるカフェを作りたいと、開業準備を始めました。

町のホームページで店舗にする空き家を探していたところ、見つけたのが、取り壊されることが決まっていた築約80年の古民家。かつては駄菓子屋を営んでいたというその家は玄関間口が広く、外観はそのまま利用できるという点も気に入り、取り壊されるのなら、私がそこでお店を開きたいと思いました。

もう一つ気に入ったのが、立地です。車も入れない狭い路地裏に、ポツンと建つ一軒家。正に能登さんが思い描いていた、理想の場所でした。

元々、不特定多数のお客さんに来てもらうよりは、常連さんの集まるお店にしたいと思っていた能登さん。車でサッと来てサッと帰れる場所ではなく、路地を散策し、古き良き時代に想いを馳せながら来ていただきたいという、理想の立地条件にピッタリでした。

そうして購入した古民家の設備投資には、できるだけお金をかけずに済ませたいと、募

集したボランティアと一緒に、壁の塗替えなどできることはDIYで。内部のリフォームは阿武町と業務委託を結んでいる「山口県古民家再生協会」にお願いしたので、建築家を探す手間が省けました。多くの人たちの協力で、古民家が見事にカフェとして生まれ変わりました。天井の梁や2階の壁は、当時のままに活かされています。

2020年5月オープン予定が、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延びましたが、無事7月に「3RD PLACE CAFE N」オープンの運びとなりました。

玄関に入って右手には手作り作品の展示販売コーナーがあり、広々としたカフェスペースには、安全な遊具が置いてある子ども用コーナーもあります。地元食材を使用した能登さん手作りの料理の数々と、本格的なスイーツも人気です。

2階はレンタルスペースとなっており、どなたでも自由に使って欲しいとのこと。能登さん自身も、趣味のレジンワークショップを月1回開催しています。





堅実な 事業計画書と 将来性を見込まれて



開業時に能登さんには、阿武町と萩山口信用金庫から助成金が交付されました。双方が締結している「地方創生に係る包括連携に関する協定」に合わせて創設された、同信金の「阿武町創業チャレンジ応援助成金」制度を利用することができたのです。これは、阿武町内で起業や新規事業を始める人に対して、阿武町が交付する補助金に同信金が10万円を上乗せして交付する制度です。

その際に紹介されたのが、保証人の代わりに資金調達の保証をサポートしてくれる山口県信用保証協会です。同協会の保証を受けるためには審査があり、事業計画書などの書類の提出が必要です。

能登さんが商工会議所のアドバイスを受けて作成した事業計画書は、地に足の着いた堅実なものでした。こぢんまりと細く長く続けていけたら良い、無茶はしないと決めて事業計画を立て、借入金も最小限に抑えて身の丈に合った額にしました。その堅実性のある事業計画と将来性を見込まれて、無事に審査を通りました。

山口県信用保証協会はやまぐち中小企業・小規模事業者支援強化事業を行っており、創業の機運がある中で、新たな創業・起業支援に力を入れており、中小企業診断士を派遣して経営診断を行うなど、開業後のフォローも積極的に行っています。これまでも多くの創業者や事業継承者に、サポートを行ってきた実績があります。



居心地の良い 3番目の場所



開業当初は不安もありましたが、SNSでの情報発信により県内外からお客さんが訪れるようになり、常連客も増えました。お客さんの8割は地元の方だそうです、子育て世代から年配の方まで年代層も幅広く広がっています。

店名の「3RD PLACE」とは第3の場所という意味で、1stである自宅、2ndが職場や学校、そして3rdは自宅でも職場でも学校でもない3番目の居場所ということです。お客さんにとって居心地の良い第3の場所になって欲しいという願いを込めて、名づけました。今ではその願い通り、お客さんが日常からちょっと離れてホッと一息つける3番目の場所となり、能登さんが目指していた町のサロン的な役割を果たすカフェとなっています。

阿武町で開業して本当に良かったという能登さんの目標は、10年毎を区切りに頑張ることだそうです。まずは最初の10年を頑張り、また次の10年を頑張るって細く長く続け、地元

の方に愛されるお店にしていきたい。そして夫が定年退職したら二人でお店を営んでいきたいと、彼女は堅実な夢を描いています。



所在地 〒759-3622 阿武郡阿武町奈古2706

TEL 050-5880-0993

営業時間 12:00~16:00

定休日 日曜日・祝日

facebook



instagram



twitter

